花かがみ
HANA-KAGAMI

'16 12

発行人／小笠原 誓　発行所／名古屋園芸株式会社
〒460-0005 名古屋市中区東桜2-18-13 tel.052-931-8701
http://nagoyaengei.co.jp/

名古屋園芸

バースデーフラワー

スプレーバラ

今月おすすめしたいバースデーフラワーはスプレーバラです。スプレーバラとは、枝の先に数輪の花が咲くタイプの総称で、バラは枝の先に一輪のみ花を咲かせるスタンダードタイプとスプレータイプとに分類されます。スプレーバラは可愛らしい小花がたくさん咲き、ボリューム感があるので少ない本数でボリュームよく飾ることができる花です。また、細かく切り分ければ小さい場所にも飾ることができます。以前に比べ品種数も増え、スタンダードタイプと間違えるくらいの大輪種も登場しています。

今回は可愛らしい小輪タイプをミニブーケ、BOXアレンジ、ナチュラルテイストの花束にしてみました。花が小さいのでコーディネートする花・葉も細かい物を選ぶと、繊細で可愛らしいプレゼントに仕上がります。また、花が主張しすぎることもないので、ケーキやワインと一緒にプレゼントするとスマートな花贈りができると思います。

豪華な花束を贈りたい方は、スプレーバラをたっぷりと利用した特大花束も良いかもしれません。スタンダードタイプを束ねるのに比べ、ボリュームたっぷりの花束を作ることができます。

可愛らしいプレゼントから豪華なプレゼントまで対応できるスプレーバラを今月はバースデーフラワーに利用してみませんか？

フェミニンピンクのミニブーケ
¥2,000＋税

オレンジ×ブルーのＢＯＸアレンジ
¥3,500＋税

ホワイト＆グリーンの花が清楚なグリーンアイスのナチュラルブーケ　¥3,000＋税

冬の寄せ植えを楽しむ
カラーリーフの上手な使い方

寒さも日に日に増していく12月ですが、苗売り場はクリスマス、お正月、そして早春に向けて花が充実してきました。

この季節のメインとなる花はパンジー、ビオラ、ガーデンシクラメン、ハボタン、プリムラ類といったところでしょうか。これらをよりキレイに寄せ植えするにはどうしたらいいか。少し手を加えるだけで花の魅力は格段にアップします。今回はそのポイントをいくつかご紹介します。

＊花苗の数を多めに植える。

温度が低くなるこの季節、春などに植える時よりも一鉢に植えこむ数を多くします。株の成長がゆっくりな季節、少しきついかなと思うぐらいで植え込んでも大丈夫。多めの苗を使うことによって、すぐにキレイな状態で楽しむことができます。

＊カラーリーフ（葉物）を上手に使おう。

今回の重要なポイントです。私たちが寄せ植えを制作する時、メインの花選びもそうですが、どちらかというと葉物や脇役の小花選びの方がとても慎重になります。

メインの花を引き立たせるためには葉物などは欠かすことのできないアイテム。花だけで植え込むのも豪華ですが、アクセントの葉物が入ることにより、花がより一層引き立ちます。高さを出す、横に這わせる無限の組み合わせです。この季節はヒューケラやシルバー系の葉物などとても豊富にそろっています。花を使わない葉物だけでの寄せ植えもこの季節ならではの一鉢を作る事ができます。

＊なんといっても毎日のメンテナンス！

寄せ植えは1鉢にたくさんの花苗を植え込むという自然にはありえない状態です。やはり人の手で植え込んだのであれば最後まで面倒をみてあげないといけません。花がら摘み、下葉処理、追肥。手をかける事により、寄せ植えも劇的に長く楽しむことができます。

アンティークカラーの寄せ植え
アンティークカラーのパンジー、ビオラにシックな葉物を合わせた冬の寄せ植え。

カラーを楽しむ寄せ植え
パープルの器にパープル系のビオラを植え込み、器との統一感を楽しみます。

カラーリーフの寄せ植え
花を使わず色合いの違う葉物の組み合わせだけでも素敵な一鉢に仕上がります。

ビオラの寄せ植え
アリッサムと葉物を組み合わせることによりビオラが引き立ちます。

年迎えの準備

花の博物館 第251回

御水尾法皇御詠草　乾坤二冊

小笠原左衛門尉亮軒

第百八代　御水尾天皇在位十九年（一六一一～一六二九）生没（一五九六～一六八〇）八十五歳。中宮は徳川和子（まさこ）、徳川秀忠の娘、のち東福院門、寛永六年（一六二九）紫衣事件に端を発し七歳の女子明正天皇に譲位、法王となられた。

その後水尾法皇の詠まれた歌集で一千三百首が集録されている。能筆な写本であるが、筆者不明、三重県の「西荘文庫」旧蔵本である。

（見開き二頁の読み）
（『残菊』前頁）　（　）内亮軒補

元和
霜をへて　うつろひかはる　その菊
のこるも残る　秋の色かは

庭残菊

同
むらさきの　一本きくそ　のこりける
草はみなから　かれしまきかも

霜

元和二十（年）御月次
をく霜に　今朝そ跡なき　こからしの
後までのこる　庭のおち葉も

寛永十四（年）九（月）廿四（日）禁中
光もて　曙いそく　かささきの
橋にみちたる　夜半のしもかな

庭霜

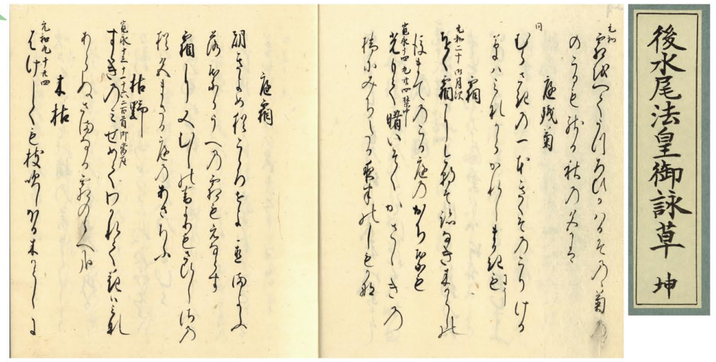
朝きよめ　猶こころせよ　置まよふ
落葉かうへの　霜もえならす
霜に又　むしの音よりも　さひしさの
猶色まさる　庭のあさちふ

枯野

寛永十三（年）十一（月）十六（日）二百首御當座
すすきのみ　せめてわかれて　花はみな
あらぬさまなる　霜のうへ哉

木枯

元和九（年）十（月）廿四（日）
はけしくも　枝吹しほる　木からしに
（『うすき紅葉の　色ものこらず』次頁）



information

万両・千両・百両・十両展
12/12（月）～ 1/3（火）

今回の紙面でも少しとりあげていますが、この季節を代表する伝統園芸植物です。迎春を祝うおめでたい縁起植物の展示、即売です。江戸時代の人々を魅了した伝統植物ですが、器ひとつ変えるだけでモダンな植物に様変わりです。お好みの器を探して植物と融合することによりアーバンライフにも溶け込む素敵な一鉢となります。ぜひこの機会に素敵な一鉢をお楽しみください。

群芳園風信子集　下村惣七郎著
明治30年頃成立（1897年ごろ）稿本　一冊

風信子とはヒヤシンスにつけられた和名です。近年、春咲き球根植物のチューリップやヒヤシンスは球根を冷蔵処理することにより、年中開花させることが可能になりました。とくに鉢植で十二月から一～二月の冬期に開花させた株は大変花もちがよく、多くの方々に喜ばれています。　亮軒記